

実施クラス	実施日	実施保育者名
5 歳児 みらい 組	6 月 17 日 ( 火 )	小野田梨沙

## ● 実施計画

活動テーマ		
サイエンス ～天気～ くもと雨についてしよう		
活動テーマに関する 日頃の興味関心について		
最近、雨が多く降ることへの興味が、なんでこんなにたくさん降るのか、不思議に思っている子どもが多い。		
活動スケジュール		環境設定 ・ 準備物
時間	内容	
15:20～15:45	<p>・4月④の活動でどんな天気の日公園で探索したか振り返る。</p> <p>・梅雨について知る。なぜ、雨がたくさん降るのか、日本地図を用いて、冷たい空気、温かい空気に分けて考え、そこにたくさんの雲が集まって雨が降ることを知る。</p> <p>・梅雨の話をする中での、疑問を話す子もいる。</p> <p>・意見は白い紙にまとめる。</p> <p>・「雲はどこからくるのかな?」「雲は何でできているのかな?」「雲はどんな形がある?どんな色がある?」「雨はどこからくるのかな?」「雨は何でできているのかな?」と問いかけ、イメージしやすいように声をかける。</p> <p>・写真や図を使ってさまざまな雲の形を観察。</p> <p>・雲の形から、様々なイメージしたものが出てくると思うので、話し合ったものを紙にまとめる。</p>	<p>【環境設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・室内で写真や図を見ながら話し合えるスペースを確保する。</li> </ul> <p>【準備物】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雲の写真集</li> <li>・ペン</li> <li>・白い紙</li> <li>・日本地図</li> </ul> <p>■参考資料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雲の写真集 (巻雲、巻層雲、巻積雲、乱層雲、高層雲、高積雲、積乱雲、積雲、層雲、層積雲、穴あき雲、レンズ雲、スーパーセル等)</li> <li>・天気図</li> </ul>

## ● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
<p>・本活動では、雲の仕組みや特徴、雨が降る仕組みについて、写真や図を使った観察を通じて学んだ。</p> <p>・導入では、この時期ならではの、梅雨の話をしたことで、子どもたちの知識や疑問を引き出した。その後、さまざまな雲の写真を見ながら違いを考え、雲のでき方についてグループで意見を出し合った。</p> <p>・また、次回の活動にとっても興味を持つことができた。</p>	<p>【子どもの姿・声】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・梅雨というワードだけでは、わからないことも多かったが、暖かい空気、冷たい空気などと話すると「喧嘩して雨が降っているんだね」や「雲は風が吹くと形が変わるんだよ」など、それぞれの気づきを積極的に話す。</li> </ul> <p>【保育者との関わり】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「この雲はどこからきたのかな?」と問いかけ、子どもたちが自分で考える機会を作った。自分の考えを他児に話し、その中で、「自分はこう思う」などと、意見交換する子どももいる。</li> <li>・結論を急がず、考えるプロセスを大切にした。</li> </ul>

## ● 振り返り

保育者側の気付き	園長からの感想・助言内容
<p>・導入として、今タイムリーな話題を持ってこることで、子ども達が最初から、興味津々で取り組める。子どもたちが今何に興味を示しているのか、見極め、興味をそのまま探究心につなげていくことで、「なぜ?」「知りたい」につながると思う。</p> <p>・梅雨の話から、雨がたくさん降ること、そこから、雲は何でできていて、どこから来るのか、興味を持ちながら話ができると思う。</p> <p>・今日は、実験までは行わず、自由な発想の中で、想像力を豊かにして、取り組めたので、無理にすすめるのではなく、目の前の子どもに合わせてすすめることで、どの子も楽しめる。</p>	<p>・興味の持たせ方、感性のくすぐりこそ、導入では大切になるので、その見極めをいかに大切にして、子どもの興味を持続させるのか、保育のスキルとしては、必要となる。</p> <p>・子どもたちが楽しんで取り組むためには、事前準備や、予測をしっかりと、子どもたちの興味がそれないように配慮が必要になると思う。</p>

実施クラス	実施日
5 歳児 みらい 組	7 月 25 日 ( 金 )

● 実施計画

活動テーマ		
たべもの ～水～ 水ってなに？		
活動テーマに関する 日頃の興味関心について		
水遊びやプールの活動時などの水に触れる機会があると「冷たいね」「水が流れているね」と言って水の感触や温度に気付く姿がある。		
活動スケジュール		環境設定 ・ 準備物
時間	内容	
10:30～10:35	・「水ってなんだろう」「水ってどんなもの?」と問いかける。  ・子どもたちの意見をホワイトボードにまとめる。	【環境設定】 ・安全に探究できるよう環境を設定する。 ・子どもたちが自由に発言できる雰囲気を作る。 ・正解を求めるのではなく、予想し考える態度を大切にす。
10:35～10:45	・水を皿やコップに入れて観察をし「水色って水と同じ色?」「においはあるかな」「コップに入れる音はどんな音?」と様々な質問を行う。  ・さまざまな形の容器に水を入れて、形の変化を探究してみる。  ・水の流れや音を探究してみる。	【活動使用教材】 ・水 ・絵の具(水色) ・透明のプラスチックコップ ・さまざまな形の容器(皿、コップ、袋など) ・氷 ・ホワイトボード ・ホワイトボードマーカー
10:45～11:00	・実験での発見や感想を発表する。発表の内容をホワイトボードにまとめていく。  ・水の性質について確認する。	【事前準備】 ・水を扱う活動になるため、水で濡れる点に注意し、転倒などの事故を防ぐよう環境を設定しておく。 ・探究活動で使用する用具の使用方法を設定しておく。

● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
<p>・導入では、「水って何だろう」と問いかけると真剣に悩む姿が見られた。だが「水ってどんなもの」という質問では戸惑いながらも考えた答えを発言していた。</p> <p>・水について、色、形、においや流れ等、様々な実験を通して、水の性質について調べた。気付いたことを友達や保育者に話す姿があった。</p> <p>・振り返りでは、気づきや調べた内容を改めて話し、子どもたちなりに答えが出そうと「面白いね」と言って納得していた。</p>	<p>【子どもの姿・声】 ・「水は雨や雲、海から来るんだよ」「みんなが必要な水だよ」 ・「どうして、水色は水の色をしていないのに、この色なんだろう」「水って色がないんだ」 ・「水道の匂いがする」「しょっぱそう」「甘いかも」 ・「すっぱそうない」 ・「ぼつん、ぼつん」「じよるじよる」「つーぼちゃん」と音がしたとそれぞれ反応が違う。</p> <p>【保育者との関わり】 ・子ども達が発言したことに対して「いい答えだね」「それもいいね」と否定ではなく、気付いたことや感じたことに対して、一緒に共有し深め合うようにした。 ・いつも発言する子が限られていた為、発言が上手く出来ない子に対して「〇〇と〇〇どっちだと思う」と選択肢などを上げるようにし、答えられるように促した。</p>

● 振り返り

保育者側の気付き	園長からの感想・助言内容
<p>・普段、当たり前前に使用している「水」について深く学ぶことで、最後には「大切に使わなきゃだね」と言って、水の大切さに気付いていたことが良かった。又、子ども達なりに、考えたことや気付いたことを発言し、友達や保育者に受け止めてもらうと安心な表情があった。サークルタイムを用いながら行うことで、対大人にならず、いつも過ごしている友達と話す安心感があったと思う。今後もサークルタイムを上手く使用しながら進めていきたい。</p>	<p>・水の大切さを感じ、友達とのサークルタイムの中で、自分の意見を言ったり、聞いてもらったり、受け止めてもらうことで、さらに自信をもって、自分の思いを発言し、様々な考察を楽しめるといいと思う。</p>